施工説明書

TOTO

小便器用排水フランジ(壁掛用)

HP900　HP900M　HP901M

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全に関するご注意（安全のために必ずお守りください）

施工の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

⚠注意

必ず実行

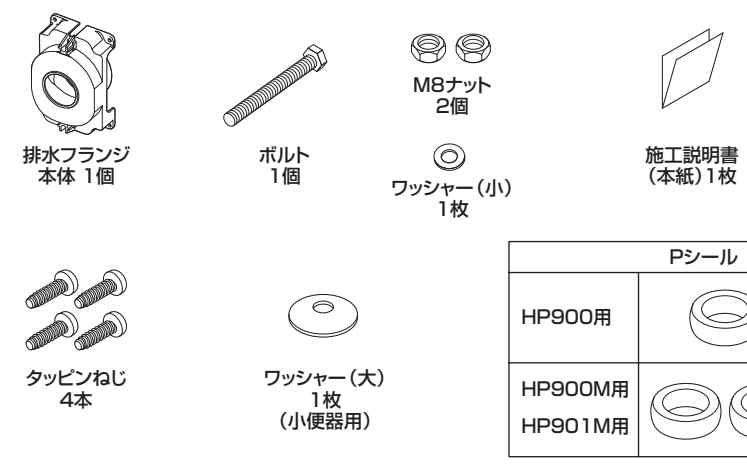
新設塩ビ管用、新設鉛管用、取替用の用途にあった排水フランジを使用する
正常な取り付けができなくなり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

施工後必ず試運転し、各部に水漏れがないことを確認する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

施工の際に使用する部品は付属部品および指定部品を使用する
正常な取り付けができなくなる可能性があります。

2 同梱部品

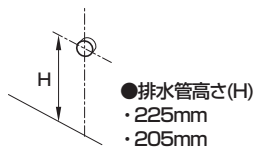
■部品があるか、下記を参照して確認してください。



HP900	HP900M	HP901M
■新設 VU・VP50塩ビ管用 ➡ 手順 3 4 へ	■新設 50mm鉛管用 ➡ 手順 3 5（裏面）へ ■取替 50mm鉛管用 （既設TOTO製壁フランジにかぶせて使用） ➡ 手順 3 6（裏面）へ	■取替 VU・VP50塩ビ管用 50mm鉛管用 （既設TOTO製壁フランジにかぶせて使用） ➡ 手順 3 6（裏面）へ

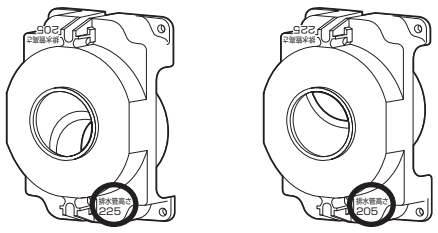
3 排水フランジの陶器固定用ボルト取り付け

①排水管高さ（225mm、205mm）を確認する。
※HP900、HP900Mは225mmのみの対応



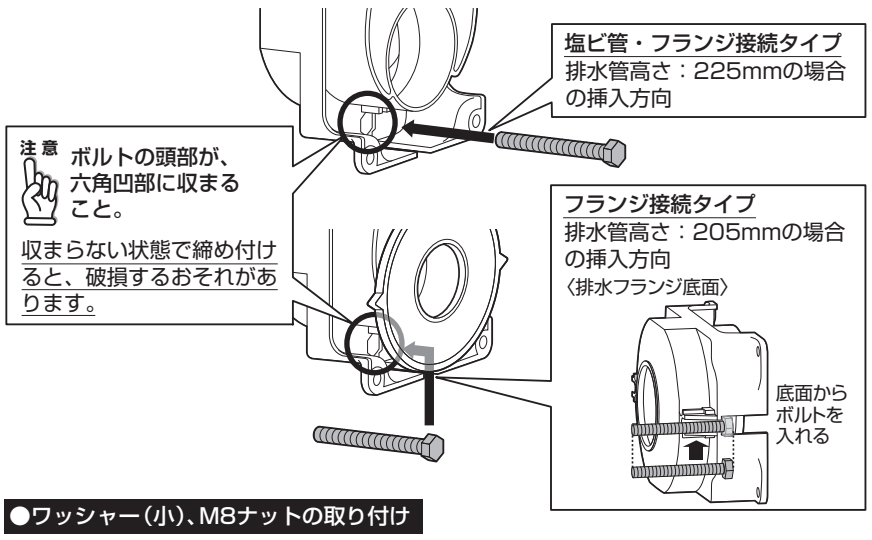
②確認した排水管高さの寸法値と、排水フランジに同じ数値が表示されている側に下記手順でボルトを取り付け、ナットを確実に締め付ける。

排水フランジ表記内容

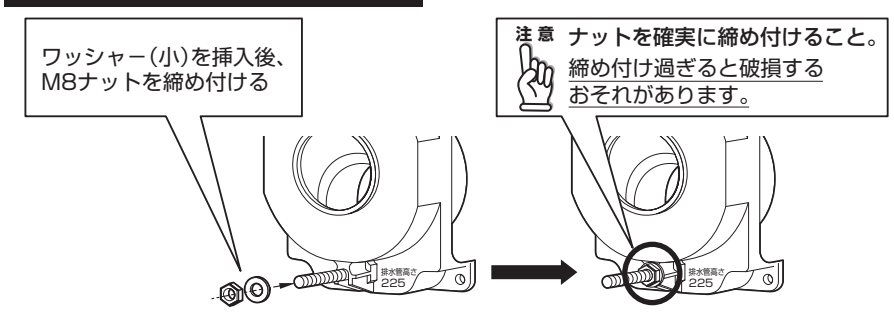


排水管高さ：225mmの場合　排水管高さ：205mmの場合

●ボルトの挿入

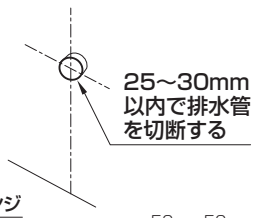


●ワッシャー（小）、M8ナットの取り付け



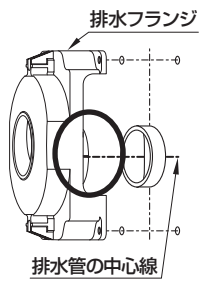
4 HP900用（新設・塩ビ管用）

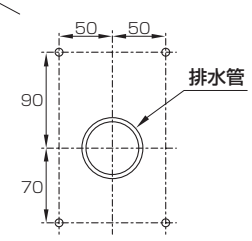
①壁仕上げ後、排水管（塩ビ管）の高さが正しいか確かめ、右図のように**排水管を壁仕上げ面から25～30mm以内**で切断する。



②排水フランジの取付穴位置に従って（右図参照）排水管の中心線をあわせて固定穴位置をけがく。
※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくと、タッピンねじの締め付けが比較的容易になる。

※必ず排水フランジの中心指示線を排水管の中心線にあわせる。





排水フランジ固定穴位置（単位：mm）

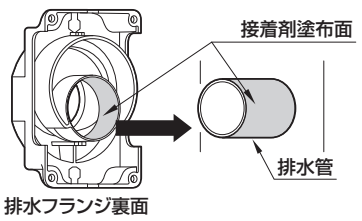
⚠注意

必ず実行

排水管切断面のバリや切りくずを除去する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

排水管の立ち上げ寸法が 25mm 未満の場合は、立ち上げ直す
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

③排水フランジと排水管の接着部に塩ビ管用接着剤を塗り、排水フランジの裏面が壁面に当たるまで、排水フランジを押し込む。
※一度接着しますと手直しができませんのでご注意ください。



⚠注意

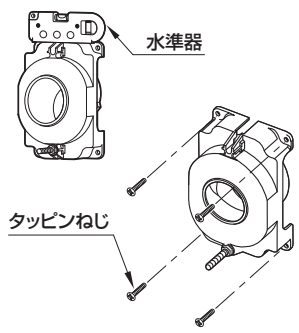
必ず実行

接着剤は必ず、排水フランジと排水管の両方に塗布する
接着剤塗布面は、排水フランジ内周、排水管外周となります。
片側のみ塗布や塗布箇所を間違えますと、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。また、臭気漏れの原因となります。

注意

排水フランジ上面のレベル（水平）を確認する
傾いて取り付きますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。

排水フランジは裏面が壁面に当たるまで押し込む

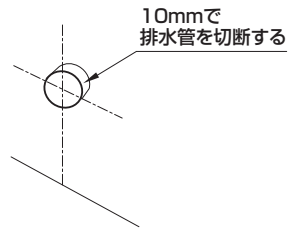


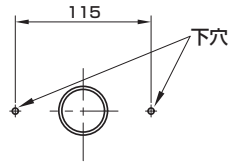
④排水フランジをタッピンねじで排水フランジの裏面が壁（4カ所）に当たるまで固定する。

5 HP900M用（新設･鉛管用）

①排水管の高さが正しいか確かめ、右図のように排水管を壁仕上げ面から10mmで切断する。

②壁フランジおよび排水フランジの取付穴位置に従って（右下図参照）排水管の中心線をあわせて固定穴位置をけがく。
※排水管と接続する壁フランジ（T64CW）は別手配となります。



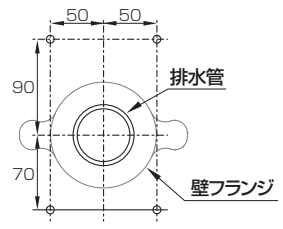


壁フランジ固定穴位置（単位：mm）

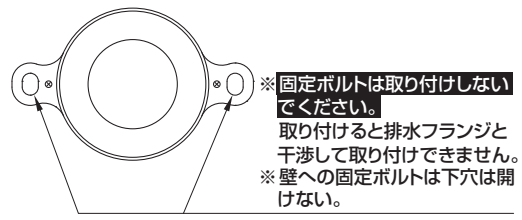
⚠注意

必ず実行

壁フランジ（T64CW）のPシールは使用しない
厚みが足りずシール不良となり水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



排水フランジ固定穴位置（単位：mm）

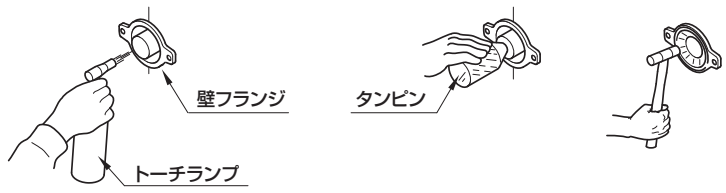


※固定ボルトは取り付けしないでください。
取り付けると排水フランジと干渉して取り付けできません。
※壁への固定ボルトは下穴は開けない。

③壁フランジを排水管の中心線にあわせて壁に固定する。
必ず壁フランジの中心を排水管の中心線にあわせる。
※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくと、タッピンねじの締め付けが比較的容易になります。

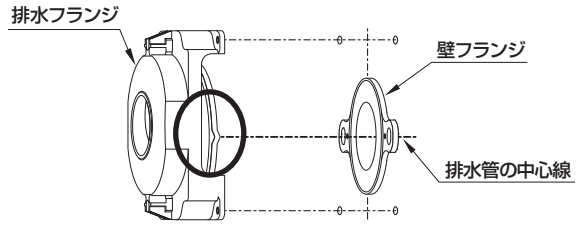
④排水管（鉛管）をトーチランプで加熱し、タンピンなどを使用して排水管（鉛管）の先端を広げる。

⑤壁フランジ面に沿わせ、つばの端面まで広げる。
※排水管（鉛管）の上端をはんだ付けしてください。



⑥排水フランジに同梱されているPシールを排水フランジに取り付ける。
※その他のPシールでは水漏れするおそれがあります。
※Pシール接着箇所は、ごみや水分を取り除いてください。

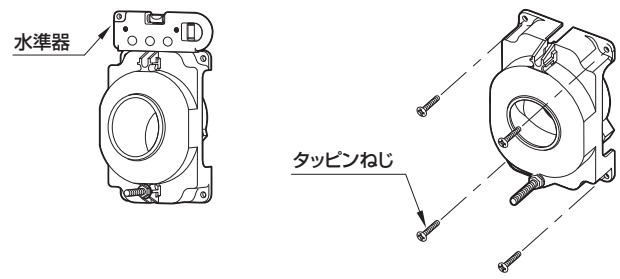
⑦排水フランジの中心指示線と排水管の中心線をあわせ、排水フランジの裏面が壁面に当たるまで排水フランジを押し付ける。
※排水管（鉛管）にPシールがしっかりなじむように押し付けてください。



注意

排水フランジ上面のレベル（水平）を確認する
傾いて取り付けますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。
水準器等を用いて、排水フランジ上面が水平になるように取り付けてください。

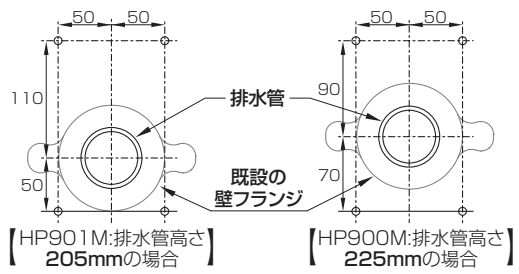
⑧排水フランジをタッピンねじで排水フランジの裏面が壁（4カ所）に当たるまで固定する。



6 HP900M･HP901M用（取替用）

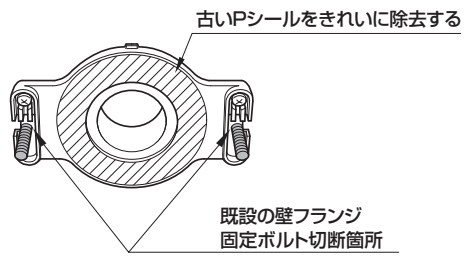
①既設の壁フランジの中心を基準に、排水フランジの固定穴位置をけがく。
（右図参照）
※けがいた位置にφ3程度の下穴をあけておくと、タッピンねじの締め付けが比較的容易になります。

②既設の壁フランジに付着している古いＰシールをきれいに除去する。



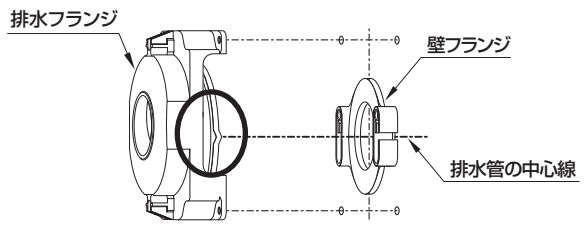
排水フランジ固定穴位置（単位：mm）

③既設の壁フランジの固定ボルトを取り除く。
※固定ボルトが取り除けない場合は、新しい排水フランジと干渉しないように固定ボルトを切断してください。

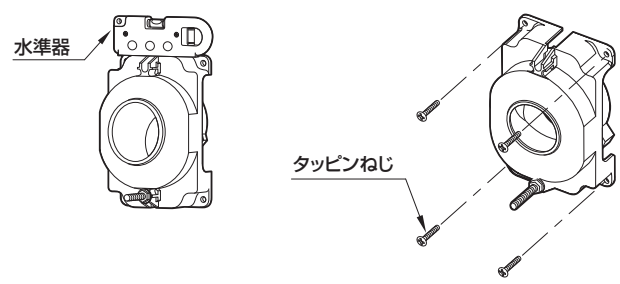


④同梱されているＰシールを排水フランジに取り付ける。
※壁フランジを完全に乾かしてからご使用ください。
※Pシール接着箇所は、ごみや水分を取り除いてください。

⑤排水フランジの中心指示線と排水管中心線をあわせ、既設の壁フランジの上からかぶせるようにして排水フランジの裏面が壁面に当たるまで排水フランジを押し付ける。
※排水フランジはPシールがしっかりなじむように押し付けてください。



注意

排水フランジ上面のレベル（水平）を確認する
傾いて取り付けますと小便器が正常に取り付けられない場合があります。
水準器等を用いて、排水フランジ上面が水平になるように取り付けてください。

⑥排水フランジをタッピンねじで排水フランジの裏面が壁（4カ所）に当たるまで固定する。